

短期就労及び観光型の移住体験事業

【団体名】 苓北町

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 苓北町には、50年以上の歴史を持つ「れいほくレタス」や4年の年月をかけて育てる「天草天領岩かき」など、豊かな自然が育てる農林水産品が多く存在します。
- しかし、人口減少や少子高齢化により基幹産業である農林水産業の担い手不足が深刻化しており、生産時期が限定される農業・養殖業においては、季節労働者の確保も課題の一つとなっています。
- そこで、苓北町の「全国に誇るべき農林水産品」と「豊富な資源や自然を活かした観光業」を活かし、「短期就労及び観光型」の移住体験事業を実施することで、関係人口と移住・定住候補者の創出に取り組みました。

取組みの概要

- ◆ 「苓北町関係人口創出オンラインセミナー」の開催
 - ・ 役場職員が移住体験事業の説明だけでなく、観光スポットや特産品など苓北町のPRを行いました。
- ◆ 「短期就労及び観光型」の移住体験事業の実施
 - ・ 都市部から受け入れた人材に対し、就労体験と併せて苓北・天草を周遊する観光ツアーを実施しました。



苓北町の紹介



オンラインセミナー資料

取組みの成果・現在の取組み状況

- 「短期就労及び観光型」の移住体験事業については、32名の募集定員に対して112名の応募があり、参加者と受入れを行った事業者の両者から高い満足度を得られました。
- 令和6年度からは、苓北町と人材を受け入れた地域の農業者らで組織されたグループ「苓北町縁農ボランティア」が連携し、就労体験の受入れに取り組んでいます。
- また、事業後の参加者アンケートにより、地元でのアテンドの重要性を再認識したことから、地域での交流を担うプレイヤーの発掘を行い、都市部に住んでいる人が求める魅力的な観光コンテンツづくりに取り組んでいます。
- 今後も引き続き、農林水産業者の課題である繁忙期の人手不足の解消を図るとともに、事業の参加者に対し継続して苓北町の情報を発信することで、関係人口の創出や将来的な移住・定住へつなげることを目指し、町内の事業者と連携した魅力ある地域づくりの取組みを行っていく予定です。



就業中の様子（貝の水揚げ作業）



観光の様子（左：陶磁器の絵付け体験、右：白岩崎）

